

工 事 番 号	部 長	課 長	課長補佐	係 長	係 員
<p style="text-align: center;"><u>令和5年度</u></p> <p><u>耐震性貯水槽新設工事（幸崎渡瀬）設計書</u></p> <p>事業名： 工事箇所： 三原市 幸崎渡瀬 路線名：</p>	部長	課長	係長	検算者	設計者
	施工月日	令和 年 月 日			
	施工方法	請 負			
	工事期間				
工 事 概 要	起 工 理 由				
耐震性貯水槽Ⅱ型（40m ³ ） 1基 標識工 1基	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">仕 様 書</div>				

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、耐震性貯水槽新設工事（幸崎渡瀬）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版**
- ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・ 耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（(一財)日本消防設備安全センター）
 - ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第3節 水張り検査

- 1 水張り検査を行うこと。
- 2 なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第2章 材料

第1節 耐震性貯水槽

- 1 設置する貯水槽は、(一財)日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。
- 2 本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。
- 3 本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証((一財)日本消防設備安全センター)の原本を速やかに監督員に提出すること。

第3章 施工条件

第1節 工程

- 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査
調査項目 地下埋設物
調査時期 工事施工前に調査を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 公害対策

- 1 事前・事後調査
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。（設計変更の対象とする。）
調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲 監督員と協議するものとする
- 2 粉じん防止
管理内容 粉じん防止の散水（随時）すること。
範囲 工事作業範囲

第4節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
作業期間中の交通誘導員は、2（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

- 1 一般道路
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

3 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 1. 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 2. 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

4 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

5 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

6 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

7 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

8 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土の利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

9 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

10 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第7節 その他

1 工所用機資材等の仮置き

場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

2 法定外の労災保険 の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月 広島版）『1-1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
耐震性貯水槽		式	1	レベル1
耐震性貯水槽土工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
残土処理工		式	1	レベル3
基礎工		式	1	レベル3
基礎砕石	RC-40	式	1	レベル4
基礎コンクリート	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB	式	1	レベル4
耐震性貯水槽躯体工		式	1	レベル3
躯体工	耐震性貯水槽 型 40m3 土被り0.50m	基	1	レベル4
耐震性貯水槽設置工		式	1	レベル3
設置工		式	1	レベル4
小型標識工		式	1	レベル3
標識柱	支柱 60.5×2.3×3500	基	1	レベル4
標識板	600	枚	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	14	レベル4

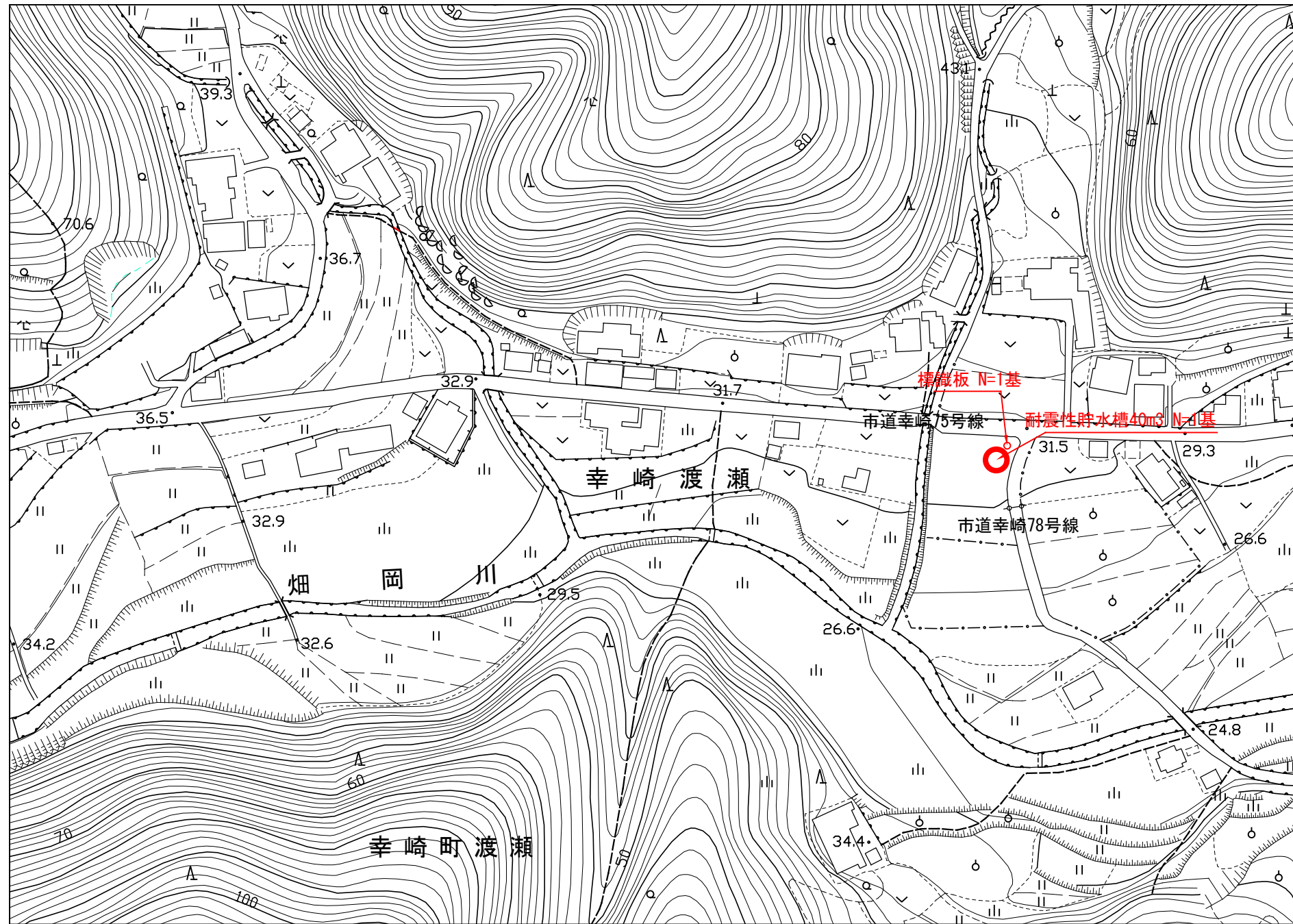
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
** 直接工事費 **				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
土質試験費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

図面番号	1/1	縮尺	1:2500
工種	耐震性貯水槽新設工事(幸崎渡瀬)		
種別	平面図	縮尺	1/1
工事箇所	三原市幸崎渡瀬		
三原市			

平面図

1 : 2500



耐震性貯水槽仕様			
〔貯水槽形式〕	耐震性貯水槽Ⅱ型	40m ³	(一財)日本消防設備センター認定品
〔吸管投入口形式〕	φ600		
〔標識板形式〕	φ600	アルミ板	
〔標識柱形式〕	φ60.5	2.3×3500	
〔土被り〕	0.50m		

参 考 資 料

—耐震性貯水槽新設工事(幸崎渡瀬)—

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-05.09.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震性貯水槽					Y1E01 レベル1
	1	式			
耐震性貯水槽土工					Y1L0301 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1A010201 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1A01020102 レベル4
	220	m3			
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し					SPK23040015 00
	220	m3			単第0 -0001 表
埋戻し 土砂					Y1A01020103 レベル4
	150	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK23040020 00
	150	m3			単第0 -0002 表
基面整正					Y1A01020104 レベル4
	24	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正					SPK23040017 00
	24	m2			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1A010108 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 土砂					Y1A01010102レベル4
	50	m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離15.5km以下(11.5km超)					SPK23040002 00
	50	m3			単第0 -0004 表
残土等処分					Y1A01010803レベル4
	50	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費					F000000100 00
	50	m3			
基礎工					Y1A010503 レベル3
	1	式			
基礎碎石 RC-40					Y1M02060401レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎砕石 砕石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	24	m2			SPK23040034 00 単第0 -0005 表
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB	1	式			Y1A01020303レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	3	m3			SPK23040154 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8	m2			SPK23040156 00 単第0 -0007 表
モルタル練 高炉	1	m3			SPK23040155 00 単第0 -0008 表
耐震性貯水槽躯体工	1	式			Y3999 レベル3
躯体工 耐震性貯水槽 型 40m3 土被り0.50m	1	基			Y4999 レベル4
耐震性貯水槽 型 40m3 土被り0.50m	1	式			V000000100 00 単第0 -0009 表
耐震性貯水槽設置工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設置工					Y4999 レベル4
本体据付工	1	式			V00000200 00
PC緊張, グラウト工	1	式			単第0 -0010 表 V00000300 00
防水工	1	式			単第0 -0011 表 V00000400 00
小型標識工	1	式			単第0 -0012 表 Y3999 レベル3
標識柱 支柱 60.5×2.3×3500	1	式			Y4999 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径 60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0013 表
標識板 600	1	枚			Y4999 レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板 600 取付金具含む	1	枚			F000001200 00 ;積算資料P356 ￥8100 建設物価P231 ￥8780
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員	14	人			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	14	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土質試験費					YZZ06001001レベル4
	1	式			
簡易支持力測定					F000001300 00
	1	式			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0001 表

土砂 標準

無し 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 24.08% 労務構成比:

50.56%

材料構成比: 25.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

227.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	24.08%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	50.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	25.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 11.71% 労務構成比:

83.03%

材料構成比:

5.26%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,861.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	9.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	1.62%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離15.5km以下(11.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,106.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=39 距離15.5km以下(11.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0005 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.53% 労務構成比: 71.60%

材料構成比: 22.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,217.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.50%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	17.73%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32%

労務構成比:

37.95%

材料構成比:

57.73%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0007 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

モルタル練
高炉

SPK23040155

単第0 -0008 表

1
標準単価： m3 当り
87,605.00000

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 83.71% 材料構成比: 16.29% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	56.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	10.64%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.65%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

耐震性貯水槽
型 40m3

V000000100
土被り0.50m

単第0 -0009 表

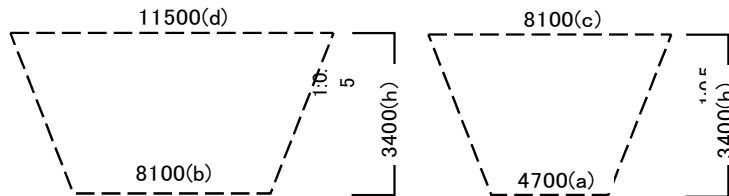
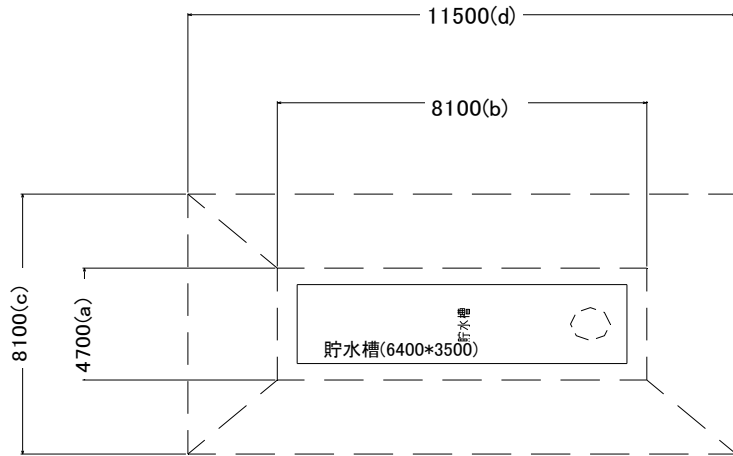
頁0 -0020

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
中間部材Aブロック 3500*2600*1400	2	個			
中間部材Bブロック 3500*2600*1500	1	個			
中間部材Cブロック 3500*2600*1500	1	個			
端部材 Dブロック 3500*2600*300	1	個			
端部材 Eブロック	1	個			
吸管投入孔	1	個			
点検用はしご FRP製	1	本			
鉄蓋 600 T-25	1	枚			
*** 単位当たり ***	1	式			

土工数量計算書(1)



種 別	計 算 式	単 位	数 量
【床掘底面】	$V_1 = \frac{h}{6}(ad + bc + 2(ab + dc))$		
床掘工	$V_1 = \frac{h}{6}(ad + bc + 2(ab + dc))$		
	h = 3.40 c = 8.10 d = 11.50 a = 4.70 b = 8.10		
	躯体短辺 3.5m 躯体長辺 6.4m 躯体高さ 2.6m 敷モルタル t=0.03m 基礎コンクリート t=0.12m 基礎砕石 t=0.15m 土被り 0.50m	m ³	216.52
	a = (3.5+0.1×2)+1 = 4.7 b = (6.4+0.1×2)+1.5 = 8.1 c = a+h = 4.7+3.4 = 8.1 d = b+h = 8.1+3.4 = 11.5 h = 2.6+0.03+0.12+0.15+0.5 = 3.4		
	基礎と躯体の幅員差 t=0.1 短辺余裕幅 1.0m 長辺余裕幅 1.5m ビット外 1.52m ビット内 1.3m ビット深さ 0.50m		
【底設ビット部】			
床掘工	$V_2 = (1.52+1.00) \times (1.52+1.00) \times 0.50$	m ³	3.175
	計	m ³	219.70
【基面整正】			
基面整正	$A = (3.5+0.1*2) \times (6.4+0.1*2)$	m ²	24.4
【残土処理】			
残土処理	$V = 219.70 - 151.41 / 0.9$	m ²	51.5

土工数量計算書(2)

	種 別	計 算 式	単 位	数 量
	【埋戻工】			
	埋戻工B	< 埋戻控除分 >		
	(躯体1)	$V_1 = 3.50 \times 6.40 \times 2.60$	m ³	58.24
	(投入孔)	$V_3 = (1.060 / 2.00)^2 \times 0.50 \times \pi$	m ³	0.44
	(ピット)	$V_4 = 2.02 \times 2.02 \times 0.50$	m ³	2.04
	(基礎工)	$V_5 = 3.66 + 3.24 + 0.67$	m ³	7.57
			控除計	m ³ 68.29
	埋戻工B	219.70 - 68.29	m ³	151.41

基礎工数量計算書(3)

種 別	計 算 式	単 位	数 量
【基礎砕石】			
RC-40 (t=0.15m)	$V = 3.70 \times 6.60 \times 0.15$	m ³	3.66
【基礎コンクリート】			
コンクリート工 (無筋・バックホウ) (t=0.15m)	$V_1 = 3.70 \times 6.60 \times 0.12$ $+ 1.00 \times (1.52 \times 1.52 - 1.3 \times 1.3) \times 0.5$	m ³	3.24
【モルタル工】			
モルタル工	$A = 3.50 \times 6.40$	m ²	22.40
1:3	$V = 22.40 \times 0.03$	m ³	0.67
【基礎型枠】			
型枠工	$A = 2 \times \frac{3.70+6.60}{2} \times 0.12 + 1 \times (2 \times \frac{1.52+1.52}{2} + \frac{1.30+1.30}{2}) \times 0.50 + 2 \times 2.6 \times 0.5$	m ²	8.11

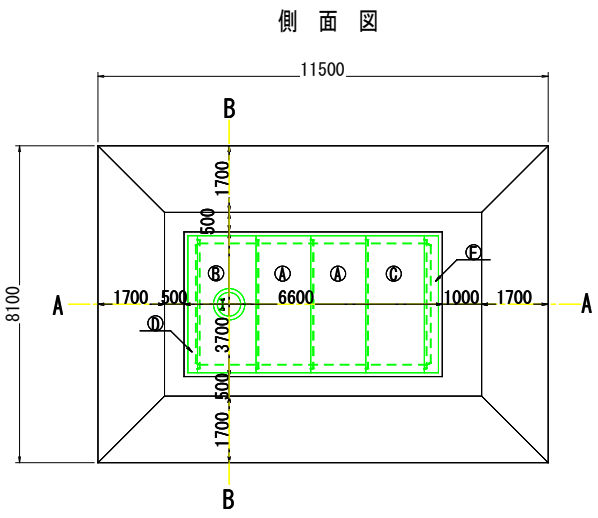
参 考 図

—耐震性貯水槽新設工事(幸崎渡瀬)—

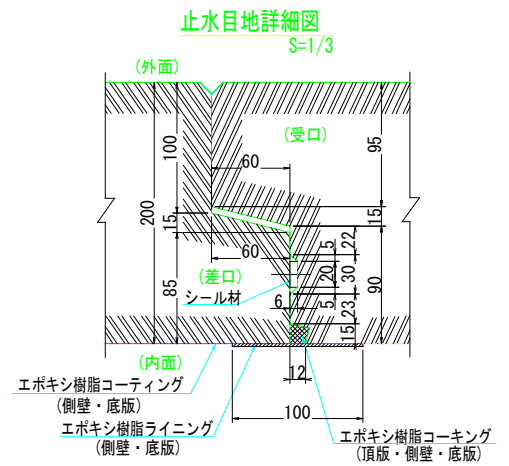
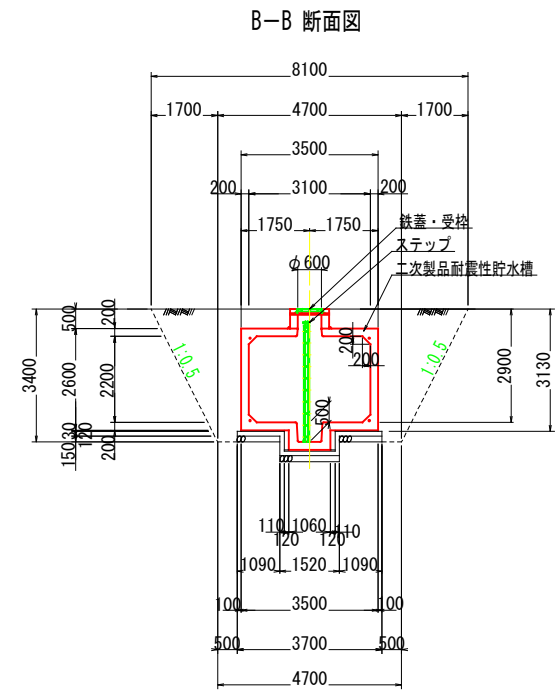
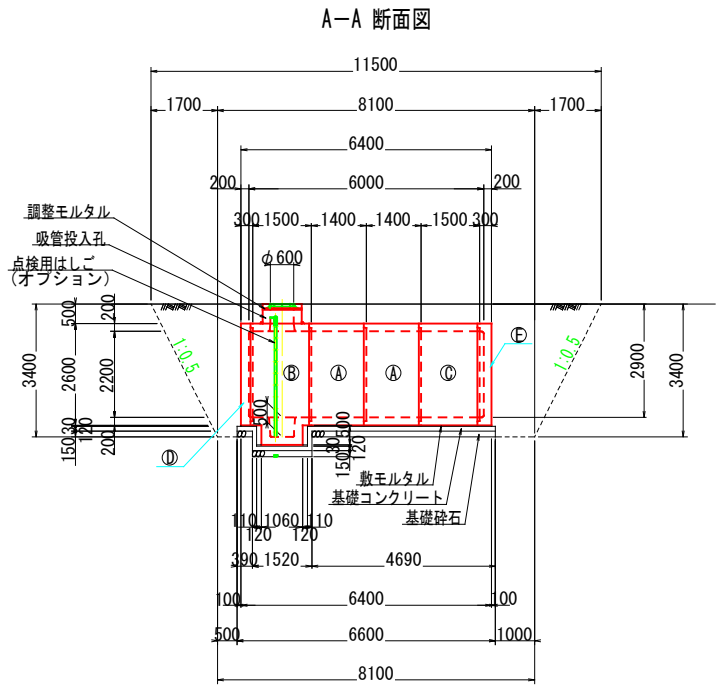
図面番号	1/2	縮尺	1:50
工種	耐震性貯水槽新設工事(幸崎渡瀬)		
種別	構造図	1/2	
工事箇所	三原市幸崎渡瀬		
三原市			

耐震性貯水槽 構造一般図

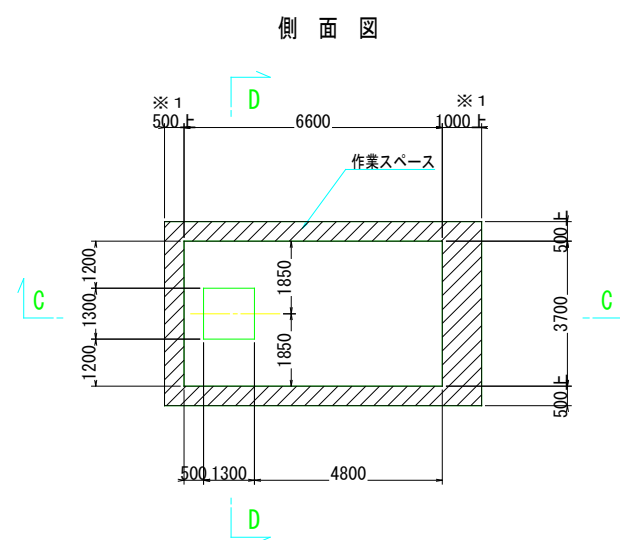
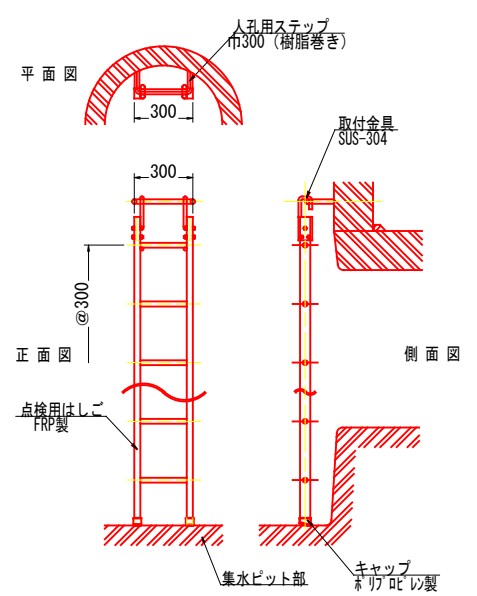
道路用 T-20, 25 土被り0.5m
[40m3型]



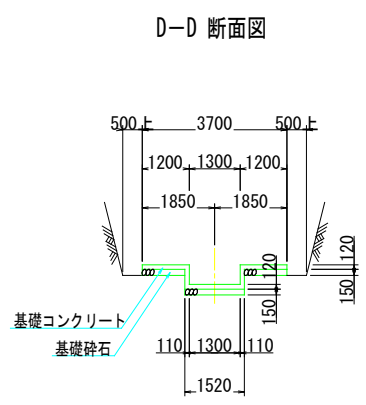
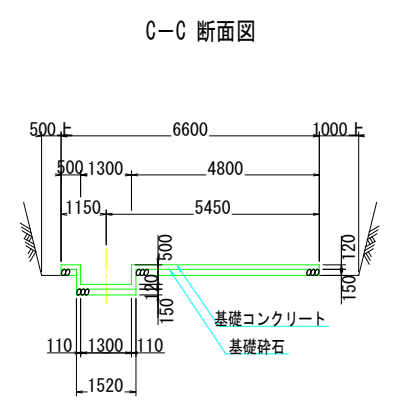
組立図
S=1/100



点検用はしご詳細図
S=1/20



基礎図
S=1/100



注:ピット部の基礎の深さは0.5mです。

基礎数量表

名称	算式	備考
基礎コンクリート	$V=3.70 \times 6.60 \times 0.12+1 \times (1.52 \times 1.52-1.30 \times 1.30) \times 0.5 = 3.241(\text{m}^3)$	$\sigma_{ck}=18 \text{ N/mm}^2$
基礎型枠	$A=2 \times (3.70+6.60) \times 0.12+1 \times [2 \times (1.52+1.52) \times 0.50+2 \times (1.30+1.30) \times 0.50] = 8.112(\text{m}^2)$	
敷砂利	$V=3.50 \times 6.40 \times 0.03 = 0.672(\text{m}^3)$	
基礎砕石	$V=3.70 \times 6.60 = 24.420(\text{m}^2)$	$t=150\text{mm}$

数量集計表

部材名称	参考質量 (kg/個)	使用個数 (個)	参考質量 (t)
中間部材 Aブロック	8260	2	16.5
'' Bブロック	9395	1	9.4
'' Cブロック	8850	1	8.9
端部材 Dブロック	4950	1	5.0
'' Eブロック	5323	1	5.3
吸管投入孔 (h=350)	438	1	0.4
		合計	45.5

設計条件

設計荷重	Ⅱ, Ⅲ型	T-20, 25
土被り		0.5m
必要地耐力		$q=70.7 \text{ kN/m}^2$

土工数量表

名称	算式
掘削	$V=3.40/6 \times [(2 \times 11.50+8.10) \times 8.10+(2 \times 8.10+11.50) \times 4.70] = 216.5(\text{m}^3)$
埋め戻し	$V=216.5 - [(3.50 \times (2.60+0.03) \times 6.40) + (3.70 \times (0.12+0.15) \times 6.60)] = 151.0(\text{m}^3)$
基面整正	$A=3.70 \times 6.60 = 24.4(\text{m}^2)$
残土処理	$V=216.5-151.0 = 65.5(\text{m}^3)$

※ピット部は少量であるため考慮しない。

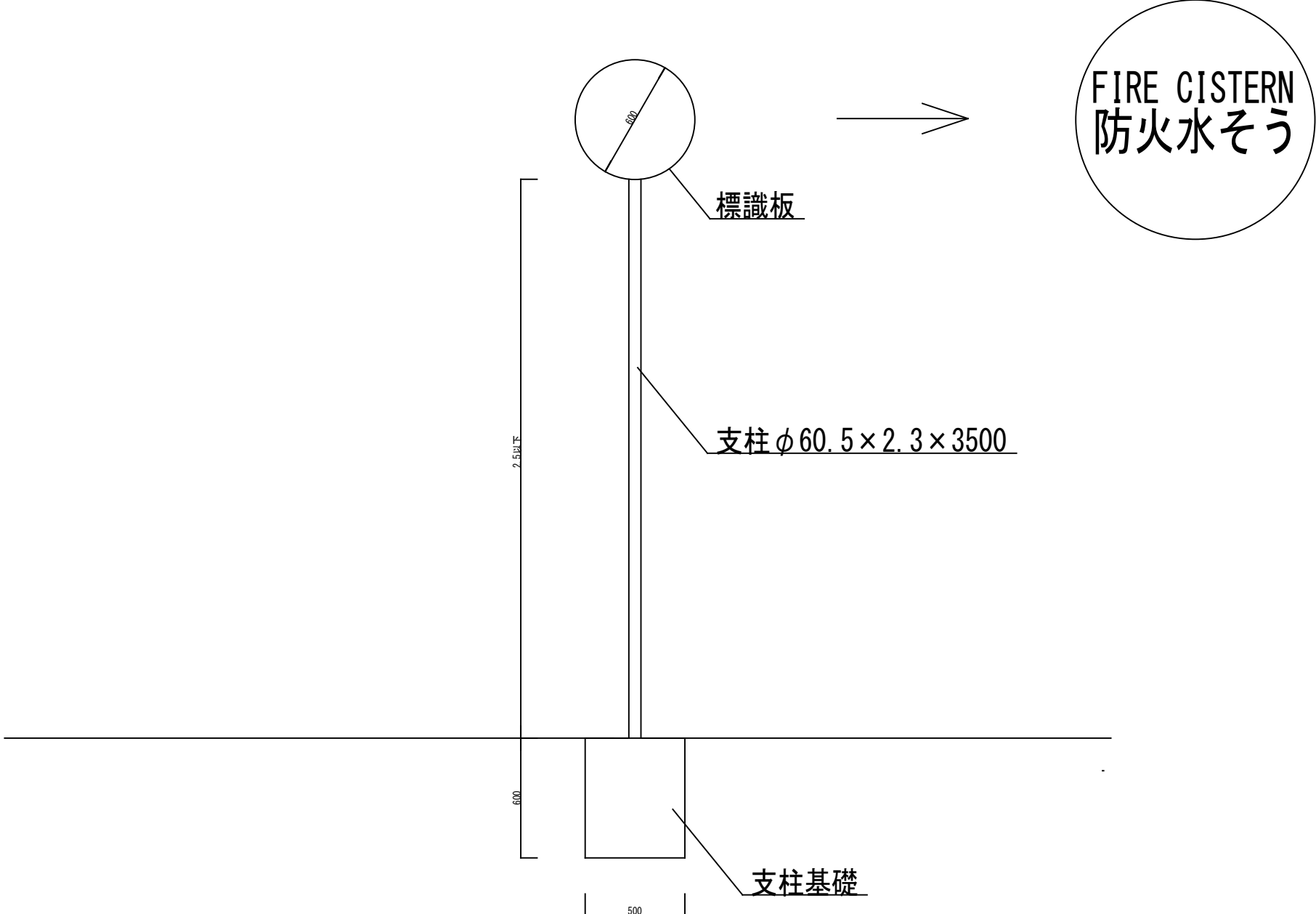
※1 PC緊張作業スペース確保の為、いずれか一方は、必ず1000以上とって下さい。

図面番号	2/2	縮尺	1:20
工種	耐震性貯水槽新設工事(幸崎渡瀬)		
種別	構造図	番号	2/2
工事箇所	三原市幸崎渡瀬		
三原市			

構造図

1:20

※支柱基礎は、設置場所により舗装下部に設置する場合があります。



位置図



34. 3491, 133. 02277
この図は, 地理院地図
を利用したものである。

300 m